



# ユークキャン通信

編集発行 知能工作研究所  
〒242-0006 大和市南林間 2-18-25  
TEL046-277-5654 Fax046-277-5657

## 令和元年 5月25日 松本幼稚園研究会報告

天気 快晴

### キラキラ輝く目、持って帰りたい！の聲が聞こえる知能教育を目指して。

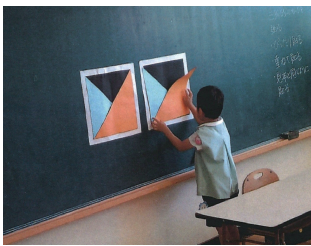
5月25日、トランプ米国大統領訪日のため、  
厳重な警備体制が敷かれた東京。そんな世間が緊張している中、江戸川区にある松本幼稚園で、知能工作研究所の研究会が行なわれた。この研究会は毎年5月に開かれ、令和元年の今年で7年目7回になる。

「素敵な知能教材ができるなら、ウチの園を自由に使っていいわよ。」

不慮の事故で3年前に亡くなられた大野敏子先生の、幼児教育への熱い思いから生まれた研究会。土曜日の休日、保護者の協力を得て特別に登園した、年長児クラス33名の保育参観から始まった。

#### ※公開保育「同じハタ作り」 図形の転換を集中思考する

指導 高橋美桜先生。(この園卒園児、歴6年目)  
(導入) 今日は何をどうする遊びなのか、本時のねらいや考え方の工程を自分たちの問題として、みんなで考え発表。2枚の三角形を使って、左側と同じハタを完成させる事に、クラス全員が納得して遊びを決定。



ねらいや考え方の工程を自分たちの問題として、みんなで考え発表。2枚の三角形を使って、左側と同じハタを完成させる

(展開) 教材袋から赤・青・黄・緑の直角三角形を出し、課題のハタ作りに挑戦。直角三角形の向きと、色を重ねるという2方面から考えなければならぬ大変高度な課題。しかし、苦労しながらもみんなよく集中していた。



①は完成②の黄色は？。

変だ合わない！②に挑戦。

※公開保育後、現園長大野正樹先生の、「幼稚園教諭に求められる資質」の講話。

人は成長と共に意識が育つ。その成長には、概念の力が大きい。だから普段から本や新聞を読むことが大切だという、不勉強者には、多少耳の痛いお話があった。

・・・Lunch Time 昼食をはさんで・・・

※保育の授業分析。保育を指導した先生を中心に、参加者全員で、指導方法、導入教材や教材としての適・不適・改善等の検討が行われた。知能因子や製作者側の意図(知能工作研究所)と現場の教師が対峙し、意見を出し合って、より素敵な教材、より確かな知能教育の指導を目指した。最後に、沖縄や千葉、茨城から参加された先生方全員で、授業をした高橋先生、設営してくれた園の先生方に感謝して閉会となった。

高橋先生の感想文を一部掲載して、教師としての姿勢、意欲を称えたい。

保護者の前とは違って、同じ「教員」の方々に自分の授業を観てもらえたことは、とても勉強になりました。自分の配慮不足な保育を、気付くことができました。今日の悔しい授業を、楽しい授業に戻せるよう努めたいです。また機会がありましたら授業をさせて頂きたいです。

[余談] 高橋先生が年長児の時のクラス担任だった先生(今も在園中)の、心配そうな眼差しがとても印象的だった。

#### ※ 親子で遊ぶ知能訓練 通信教育始めました！

親子・孫と一緒に、課題やゲームをして時間を共有。学力の基礎を育てる家庭用知能教育、“英才教育プログラム”を開発しました。是非ご紹介下さい。年中児～小学3年生の五段階、各12巻。成長記録する前期・後期の評価書も付いています。

ホームページ「知能工作研究所」で検索。子どもへの過度な負担を避けるため、また、個人情報保護のため、1巻ごとのFAX注文になっています。

1巻 2500円「クロネコヤマト」玄関カード払い。